

# 『物質と記憶』 を診断する

## ベルクソンと脳・時間・記憶の諸問題

### 第8回 PBJ (Project Bergson in Japan) 国際シンポジウム 2016

11月10日(木)《時間と形而上学》 @法政大学 市ヶ谷キャンパス ポアソナードタワー26階スカイホール

- 10:30-11:45 若手セミナー (岡岡隆佑・松井久・中原真祐子)  
13:00-15:00 セッション1 司会:安孫子信(法政大学) 特定質問者:藤田尚志(九州産業大学)  
カミーユ・リキエ (パリ・カトリック学院) 「『物質と記憶』と形而上学の直観的再興」  
村山達也(東北大学) 「ベルクソンの潜在性概念」  
15:20-17:20 セッション2 司会:平井靖史(福岡大学) 特定質問者:マイケル・R・ケリー(サンディエゴ大学)  
バリー・デイントン(リバプール大学) 「ベルクソンにおける見ること・夢見ること・在ること」  
太田宏之(防衛医科大学校) 「空間的神経表象から時間的圧縮過程へ」  
17:40-18:30 全体討論

11月11日(金)《脳と記憶》 @明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン2階会議室

- 10:00-11:15 若手セミナー (小杉時義・笠木丈・佐藤愛)  
12:30-14:30 セッション1 司会:合田正人(明治大学) 特定質問者:三宅岳史(香川大学)  
ジャン＝リュック・ブデ(ストラスブール大学) 「記憶と脳——ベルクソンの誤り」  
兼本浩祐(愛知医科大学) 「フロイトの記憶と視覚失認を通してベルクソンの第一の記憶を理解する試み」  
14:50-16:50 セッション2 司会:藤田尚志(九州産業大学) 特定質問者:永野拓也(熊本高等専門学校)  
デイヴィッド・クレブス(サルフォード大学) 「『物質と記憶』とディープ・ラーニング」  
平井靖史(福岡大学) 「時間的に拡張された存在論における記憶の時制と相」  
17:10-18:00 全体討論

11月13日(日)《記憶と未来》 @大阪大学 吹田キャンパス 人間科学部本館5階5E教室

- 13:00-15:00 セッション1 司会:杉村晴彦(京都大学) 特定質問者:増田晴彦(阪谷大学)  
ユリア・ボドロガ(ジュネーブ大学) 「現在の働き——ベルクソンと美的経験」  
梅垣立哉(大阪大学) 「ベルクソンにおける純粋記憶とはなにか、何故過去はすべてが存続するのか」  
15:20-17:20 セッション2 司会:梅垣立哉(大阪大学) 特定質問者:村山達也(東北大学)  
マイケル・R・ケリー(サンディエゴ大学) 「記憶力の幸福な傾向——ベルクソン『物質と記憶』と道徳性の進化」  
藤田尚志(九州産業大学) 「ベルクソンの未来——『物質と記憶』から『創造的進化』へ、そして……」  
17:40-18:30 全体討論

主催:平成28年度科学研究費補助金・基盤研究(B)

「ベルクソン『物質と記憶』の総合的研究—国際協働を型とする西洋哲学研究の確立」(課題番号:15H03154)

後援:ベルクソン哲学研究会、法政大学、明治大学、大阪大学、福岡大学、九州産業大学

収入徴収:学術不況、主催団体の英語・一部フランス語・講演テキストは日本語訳付まで、英語には適応可

連絡先:(代表) 福岡大学・平井靖史 hiraiya@fukuoka-u.ac.jp 092-871-6631

法政大学:安孫子信 abiko@hosei.ac.jp 03-3264-9738

明治大学:合田正人 mgt1937@meiji.ac.jp 03-3296-4545

大阪大学:梅垣立哉 h.gaki@f.u.osaka-u.ac.jp 06-6877-5111

